

平成24年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 八王子市立石川保育園

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

9月

NO.	期末モニタリング番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	9月						備考			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン			所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期		内容	対応状況	次年度対応
1	5	9・3月	保育の基本内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な雰囲気を崩さず、異年齢で過ごす時間を意図的に設定しながら ・音楽にあわせ身体を動かすことが大好きな子どもたちに、リトミック講師による音楽の時間を取り入れる。表現力を養っていく。 ・23年度に引続き、マラソン・体操など日々の活動から高尾山登山まで、心身共に逞しい子に成長するよう和の保育方針をカリキュラムに落としこんでいく。 ・畑活動を初め、自然の恵みに感謝の気持ちをもつことができる保育を展開していく。 	事業計画の目標管理シート、食育計画・実践記録	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年長、年中を対象に月1回外部講師によるリトミックを実施。楽しみながら講師の話をしっかり聞き身体を動かせるようになって来た。 ・保護者の理解を得ながら「和の保育」を取組んで行き、秋の高尾山登山に向けて幼児組は体力作りに励んでいる。 ・地域の方の協力を得ながら園庭で野菜作りをし、自然の恵みを感謝しながら食する体験(調理保育)等を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら体力作りができるよう、工夫している。 ・また、園独自の「和の方針」をうまく取り入れながら、園児が楽しく過ごせるよう工夫している。 	有	10月～後期	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の園庭遊び、体操を習慣化し、保護者からの『戸外遊び』の需要にこたえられる様にする。 ・リトミックや運動遊び等、身体を動かして遊ぶものと落ち着いてじっくり取り組む内容をバランスよく取り入れていく。 ・地域の方の協力を得ながら、幼児組を中心に交流を兼ねた取組を多く持ち、相手の気持ちに気づきながら関わる体験をしていく。 	済		
2	20	9・3月	保護者や地域との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会役員会や保護者懇談会の内容充実を図りながら、保護者に園の方針をより理解していただき行事等を通して協働をすすめる。 ・地域の自治会(高齢者)に保育ボランティアをお願いしたり、卒園児との交流行事を始めたりしながら更なる交流の充実を図る。 	懇談会報告・児童票(個人記録)・保育日誌、ボランティア活動報告	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者施設と園児との交流回数を増やし、一緒に出掛けたり、施設の清掃に行ったり、行事に招待したりした。 ・地域の高齢者による保育ボランティアが徐々に増え、保育を見守っていただいている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者施設への訪問をするなどして、地域の方々とも交流を深めている。地域の方の保育ボランティアが増えるなど、成果が出ている。 	有	10月～後期	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の保護者との会話を大切にし、父母会役員とも協力しながら保育内容の充実を図っていく。 ・地域の高齢者施設、学校、保育園等と積極的に関わって保育園にも来て頂ける魅力ある園を目指していく。 	済		
3	20	9・3月	地域の子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・石川保育園で行っている、なかよしひろばや出前保育を地域に知ってもらうよう、ポスターやチラシを作成し、近隣に掲示するなど工夫をしていく。 ・前年人気であった、支援センターでの講座の回数を増やす。 	保育日誌、活動報告	B	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよしひろばでは、地域の方々を招待して、園児と一緒に過ごしていただき、リピーターが増えている。 ・支援センターでは、離乳食講座を行い、保育園を知っていただく機会となった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広場事業や、出前講座を行うなど、子育て支援に努めている。 	有	10月～後期	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児家庭に向けて行事の案内を出したり、ポスター等で園行事をアピールして行きながら、次年度入園にも繋げていく。 	済		
4	6	9・3月	保育士の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念に添った目標を毎月掲げ、自己評価反省を行い、保育の質を高めていく。 ・職員各自が、目標を具体的にもち、研修に参加したり勉強を行って専門性を高めていく。 	研修計画表、研修報告書、自己チェックシート	B	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修では具体的な取組について、法人研修では「社会人として」を主とした研修に職員が参加し質の向上に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外部、内部研修を実施し、職員の質の向上に務めている。 	有	10月～後期	<ul style="list-style-type: none"> ・参加した研修報告を会議等で報告したりしながら、職員全員で統一見解(課題の共有)をするようにする。 ・職員一人ひとりの得意分野と苦手分野を把握した指導をしていく。 	済		
5	15	9・3月	施設環境整備・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・テラス・下駄箱・外水道など、子どもたちが使用する頻度が高い場所の修繕を行い、安全性を高めていく。 ・日々の遊具および保育室内の安全点検を怠らず、老朽化部分は速やかに修繕するようにする。 	遊具等安全チェック表、室内安全チェック表、月報、修繕申請書、報告書	B	<ul style="list-style-type: none"> ・テラスのJSコーティング、保育室のコンセント増設、園児靴箱全面改修、テラスの照明増設等を実施。 ・7月に機械警備を導入し、園のセキュリティ強化を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心、安全な園生活が送れるよう、施設環境整備、安全管理を行っている。 	有	後期～次年度	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の保育環境と整えるための修繕を優先的に実施していく。 	済		

平成24年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 八王子市立石川保育園 保育園

評価区分 A: 目標や計画を上回る成果があったもの B: 目標や計画どおりの成果があったもの C: 目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

3 月

No.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	3 月						所管課年間評価		備考	
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認			
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況		次年度対応
1	5	9・3月	保育の基本内容	・基本的な子どもへの関わりは、前期同様に安心をもつとくに職員間の連携を極め保育に活かした。 ・子どもたちの様子や保護者の意向を参考にしながら、運動会・お楽しみ会・作品展・卒業式と大きな行事を円滑に行っていく。それらの行事を通して、子どもたちと保護者とのコミュニケーションを深め、信頼関係を深めた。	年間・月間保育計画、事業計画の目標管理シート、食育計画・実践記録	A	・8月から「おもてなしの日」を設け、お茶を入れたり、おもてなしマナーの話をしてたり日本の風習について知らせ、集大成として3月には年長児が保護者を招待してお茶会を開いてもらいました。 ・その日の保育内容については写真で即日保護者に報告し、お迎え時には親子でコミュニケーションと取りながら見られるようにした。 ・年間テーマを「自然(生命・恵)」とし、行事ごとにそれを意識した演目・作品を作って展示した。	A	「和の方針」を保育に取り入れ、その集大成として園児が発表することにより、達成感や継続することの大切さを学べたことと思う。また、継続することにより園児にも学んできたことが身につけていることと思う。	有	平成25年度	・指定管理3年目を迎え、「和の保育方針」も大分浸透して理解を得られてきているので、日本古来の遊びや伝統行事等を体験できる機会を多く持ちながら心身共に豊かに、遅く育つように支援していく。 ・華道、陶芸、書道等、保護者の希望も受け止めながら取入れ、「静」と「動」のメリハリのある保育を展開する。 ・食育活動に重点を置き、栽培、調理、感謝の気持ちを持ちながら食べる等を関連付けて命の大切さを感じる保育をする。	済	A	計画どおり、実施されている。民間の良いところを取り入れ、園児が楽しく生活を送ることができている。
2	20	9・3月	保護者や地域との協働	・茶話会・父母会を定期的に行い、保護者と共に子どもたちを育ていく。 ・行事に卒業生やグループホームこまくさの家の方をご招待する。 ・富士見台保育園の年長児とドッチボール大会を行い、交流を深め就学時の準備の一環とする。	父母会会議録、懇談会配布資料	A	・父母会役員会や保護者懇談会(クラス別・茶話会)を通して新しい取り組みや行事内容等承認してもらいながら実施することが出来た。 ・地域との連携を計画的に実行することができた。グループホームこまくさの家の方とは、運動会も作品展も一緒に行うことができ、子どもたちに他者との関わり温かさを実感させることができた。	A	保護者や地域の方と信頼関係を深めることができている。	有	平成25年度	・父母会役員会や保護者懇談会の内容充実を図りながら、保護者に園の方針をより理解していただき行事等を通して協働をすすめる。 ・地域の自治会(高齢者)の方々による保育ボランティアの数を増やし、日々の保育の中に入れてご意見等を頂く。 ・卒園児との交流行事を増やしながらいつでも遊びに来られる雰囲気づくりをしていく。	済	A	計画どおり実施されている。今後も行事等を通して保護者や地域との交流を深めていきたい。
3	20	9・3月	地域の子育て支援	・毎日の園庭開放・毎月のなかよしひろばを充実させていく。 ・支援センターに出向き、離乳食講座を実施し、子育て家庭の支援を積極的に行っていく。	子育て支援予定表、活動記録	A	・日々の園庭開放等のリピーターが増え、入園にもつながった。 ・子育て支援センターで親子対象で離乳食講座やおやつ作り調理保育を実施。 ・公立保育園と一緒に「あおぞら広場」等、地域の公園で子育て中の親子と園児と一緒に遊ぶ日を設けた。	A	地域への園庭解放を行うことにより、入園にもつながるなど成果が出ている。	有	平成25年度	・家庭福祉員2名との連携を始め、行事への招待や健診・身体測定・ミニ講座等々、遊びに来て頂けるようにする。 ・石川保育園で行っている、なかよしひろばや出前保育を地域に知ってもらおうよう、ポスターやチラシを作成し、近隣に掲示するなど工夫をしていく。 ・前年人気であった、支援センターでの講座の回数を増やす。	済	A	計画どおり実施されている。職員の努力により、実績を上げることができている。
4	6	9・3月	保育士の質の向上	・毎月、職員一人ひとりが保育指針に伴う自己評価を行い、評価項目が少ない箇所については、職員会議で改善案を具体的に見出していき。 ・第三者評価アンケートを実施し、結果についての勉強会を行っていく。	研修計画表、研修報告書、自己チェックシート ・第三者評価結果	B	・年間を通して経験年数別の法人研修を実施。保育に支障が無い限り出席させ、質の向上に努めた。 ・第三者評価利用者アンケートの結果、85%の満足度であり、もう少し満足度を上げる努力が必要である。	B	毎月の職員の自己評価や法人研修の実施により、保育の質の向上に努めている。	有	平成25年度	・指定管理受託3年目として第三者評価を受審。事前に勉強会(内部研修)をする。 ・法人理念に添った目標を毎月掲げ、自己評価反省を行い、保育の質を高めていく。 ・職員各自が、目標を具体的にもち、研修に参加したり勉強を行って専門性を高めていく。 ・新保育制度の動向についても会議等で職員に伝え意識できるようにしていく。	済	B	計画どおり実施されている。内部・外部・法人研修の参加や第三者評価利用者アンケートの結果を分踏まえ、さらなる保育の質の向上に努めていってもらいたい。
5	15	9・3月	施設環境整備・安全管理	・24年度当初に計画していた工事を後半期に計画的に実行していく。 ・危険箇所などを洗い出し、次年度実行できるように計画をたてていく。	遊具等安全チェック表、室内安全チェック表、月報、修繕申請書・報告書	B	・園庭整備の上、防災倉庫設置し、防災備品を充実させた。 ・園庭遊具置き場の屋根設置、事務所収納スペース確保改修、休憩室改修、グラウンド整備(U字溝整備)等を実施。	B	いつ起こるかかわからない災害に備えて、防災倉庫の設置や防災備品を充実させるなど、安全・安心に努めている。	有	平成25年度	・保育室の設備整備を中心とし、老朽化部分を修繕しながら保育環境を整え、安全性を高めていく。 ・日々の遊具および保育室内の安全点検を怠らず、老朽化部分は速やかに修繕するようにする。 ・床全面改修、エアコンの個別設置、ボイラー室・調理室改修等の大きな工事を実施する。	済	B	計画どおり実施されている。今後も、園児が安全・安心に生活が送れるよう、施設環境整備・安全管理に努めている。